

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 2019年8月9日

【四半期会計期間】 第149期第1四半期(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

【会社名】 株式会社ソトー

【英訳名】 SOTOH CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 上田 康彦

【本店の所在の場所】 愛知県一宮市籠屋五丁目1番1号

【電話番号】 0586(45)1121(大代表)

【事務連絡者氏名】 経営管理部長 小澤 活人

【最寄りの連絡場所】 愛知県一宮市籠屋五丁目1番1号

【電話番号】 0586(45)1121(大代表)

【事務連絡者氏名】 経営管理部長 小澤 活人

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

株式会社名古屋証券取引所
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第148期 第1四半期連結 累計期間	第149期 第1四半期連結 累計期間	第148期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年6月30日	自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (千円)	2,904,046	3,156,726	11,224,985
経常利益 (千円)	297,446	260,242	383,294
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	210,721	178,552	180,251
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	184,534	1,495	327,076
純資産額 (千円)	15,351,271	14,332,076	14,585,117
総資産額 (千円)	18,361,610	17,414,808	17,367,023
1株当たり四半期(当期) 純利益 (円)	16.56	14.03	14.16
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)			
自己資本比率 (%)	83.6	82.3	84.0

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦の激化等の影響により、輸出を中心に国内生産が弱含みであるものの、雇用や所得改善により緩やかな回復基調で推移しましたが、中国を中心とする世界経済の減速懸念や中東情勢が不安定であることから、景気の先行きは不透明な状況となっております。

繊維産業におきましては、少子高齢化や消費動向の変化によりファッション衣料の消費低迷が続き、また原材料の値上がりが懸念される等、業界を取り巻く環境は依然厳しい状況が続いております。

このような事業環境のもと、当社グループは、優れた感性と技術で新しい「価値」を創造するとともにグローバル展開を図り、安定的・持続的成長の実現を目指しております。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高3億5千6百万円（前年同期比8.7%増）、営業利益2億6百万円（前年同期比11.5%減）、経常利益2億6千万円（前年同期比12.5%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億7千8百万円（前年同期比15.3%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(染色加工事業)

秋冬物の受注減やファッショントレンドにおいてニットの低迷が続いている影響を受け、織物が10億9千6百万円（前年同期比1.4%増）、ニットが9億3千3百万円（前年同期比5.4%減）となり、売上高2億2千9百万円（前年同期比1.9%減）、営業利益につきましては、加工料金の是正に努めているものの、受注減及び燃料や原材料の値上りの影響が大きく、営業利益1億1百万円（前年同期比29.9%減）となりました。

(テキスタイル事業)

ニットを中心に市場が低迷しているものの、新たに取り組んだ事業が寄与したこと等により、売上高9億9千3百万円（前年同期比41.8%増）、営業損失0百万円（前年同期は営業損失1千9百万円）となりました。

(不動産事業)

売上高1億3千3百万円（前年同期比1.3%減）、営業利益1億4百万円（前年同期比2.7%減）となりました。

財政状態の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間の資産は、前連結会計年度に比べ4千7百万円増加し、174億1千4百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が2億6千1百万円減少、投資有価証券が2億2千8百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が5億1千6百万円増加、完成品が9千5百万円増加したことであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度に比べ3億円増加し、30億8千2百万円となりました。主な要因は、未払法人税等が5千9百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が1億9千5百万円増加、未払費用が1億4千万円増加したことであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度に比べ2億5千3百万円減少し、143億3千2百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が1億7千2百万円減少、利益剰余金が7千5百万円減少したことであります。

(2) 経営方針・経営戦略等

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、2千1百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	60,000,000
計	60,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (2019年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (2019年8月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	13,933,757	13,933,757	東京証券取引所 (市場第一部) 名古屋証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株でありま す。
計	13,933,757	13,933,757		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年4月1日～ 2019年6月30日		13,933		3,124,199		359,224

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2019年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,206,900		
完全議決権株式(その他)	普通株式 12,716,100	127,161	
単元未満株式	普通株式 10,757		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	13,933,757		
総株主の議決権		127,161	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式50株が含まれております。

【自己株式等】

2019年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ソトー	愛知県一宮市籠屋 5 1 1	1,206,900		1,206,900	8.6
計		1,206,900		1,206,900	8.6

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,188,111	1,926,178
受取手形及び売掛金	² 2,456,549	² 2,972,836
有価証券	130,159	
完成品	410,819	506,286
仕掛品	535,922	532,292
原材料及び貯蔵品	442,672	454,526
その他	68,321	85,031
貸倒引当金	12,956	12,956
流動資産合計	6,219,599	6,464,196
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,419,139	1,386,718
機械装置及び運搬具(純額)	1,401,846	1,422,491
土地	1,353,319	1,353,319
リース資産(純額)	46,983	44,873
建設仮勘定	7,232	6,800
その他(純額)	80,187	86,018
有形固定資産合計	4,308,709	4,300,222
無形固定資産		
その他	88,810	84,132
無形固定資産合計	88,810	84,132
投資その他の資産		
投資有価証券	5,870,507	5,642,278
退職給付に係る資産	430,382	429,675
繰延税金資産	252,838	299,413
その他	197,328	196,043
貸倒引当金	1,153	1,153
投資その他の資産合計	6,749,903	6,566,256
固定資産合計	11,147,423	10,950,611
資産合計	17,367,023	17,414,808

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	638,149	833,511
1年内返済予定の長期借入金	3,000	3,000
リース債務	8,671	8,461
未払法人税等	138,049	78,318
未払費用	295,506	436,452
役員賞与引当金	7,000	3,000
その他	577,885	607,708
流動負債合計	1,668,262	1,970,452
固定負債		
長期借入金	14,250	13,500
リース債務	38,507	36,444
退職給付に係る負債	690,607	694,987
長期預り保証金	279,054	279,054
繰延税金負債	27,925	24,994
資産除去債務	63,300	63,300
固定負債合計	1,113,643	1,112,279
負債合計	2,781,905	3,082,731
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,124,199	3,124,199
資本剰余金	1,341,568	1,341,568
利益剰余金	11,050,475	10,974,491
自己株式	1,362,209	1,362,209
株主資本合計	14,154,034	14,078,050
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	413,964	241,851
退職給付に係る調整累計額	17,117	12,174
その他の包括利益累計額合計	431,082	254,025
純資産合計	14,585,117	14,332,076
負債純資産合計	17,367,023	17,414,808

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	2,904,046	3,156,726
売上原価	2,407,092	2,654,136
売上総利益	496,953	502,590
販売費及び一般管理費	263,246	295,864
営業利益	233,706	206,725
営業外収益		
受取利息	7,596	8,958
受取配当金	48,754	40,476
投資事業組合運用益	2,698	2,794
為替差益	3,824	
その他	2,509	3,552
営業外収益合計	65,383	55,782
営業外費用		
支払利息	100	79
売上割引	376	327
為替差損		747
支払手数料	838	848
その他	329	261
営業外費用合計	1,643	2,264
経常利益	297,446	260,242
特別利益		
固定資産売却益	191	64
補助金収入		10,924
違約金収入	31,682	
特別利益合計	31,874	10,988
特別損失		
固定資産処分損	29,896	
違約金		1,957
特別損失合計	29,896	1,957
税金等調整前四半期純利益	299,423	269,274
法人税等	88,702	90,722
四半期純利益	210,721	178,552
親会社株主に帰属する四半期純利益	210,721	178,552

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	210,721	178,552
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25,040	172,113
退職給付に係る調整額	1,146	4,943
その他の包括利益合計	26,186	177,056
四半期包括利益	184,534	1,495
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	184,534	1,495

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 受取手形割引高

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
受取手形割引高	130,158千円	129,533千円

- 2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
受取手形	60,368千円	102,867千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
減価償却費	184,989千円	166,268千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月22日 定時株主総会	普通株式	254,536	20	2018年3月31日	2018年6月25日	利益剰余金

- 2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。
- 3 株主資本の著しい変動
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月21日 定時株主総会	普通株式	254,536	20	2019年3月31日	2019年6月24日	利益剰余金

- 2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。
- 3 株主資本の著しい変動
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	染色加工事業	テキスタイル事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,068,075	700,531	135,439	2,904,046		2,904,046
セグメント間の内部売上高又は振替高	75,738	1,374	5,952	83,064	83,064	
計	2,143,813	701,905	141,391	2,987,110	83,064	2,904,046
セグメント利益又は損失()	145,448	19,664	107,923	233,706		233,706

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	染色加工事業	テキスタイル事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,029,746	993,284	133,694	3,156,726		3,156,726
セグメント間の内部売上高又は振替高	93,328	498	5,961	99,787	99,787	
計	2,123,074	993,783	139,655	3,256,513	99,787	3,156,726
セグメント利益又は損失()	101,945	212	104,992	206,725		206,725

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
1株当たり四半期純利益	16円56銭	14円03銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	210,721	178,552
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	210,721	178,552
普通株式の期中平均株式数(株)	12,726,814	12,726,807

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年8月9日

株式会社ソトー
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 奥谷 浩之

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山田 昌紀

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ソトーの2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ソトー及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。